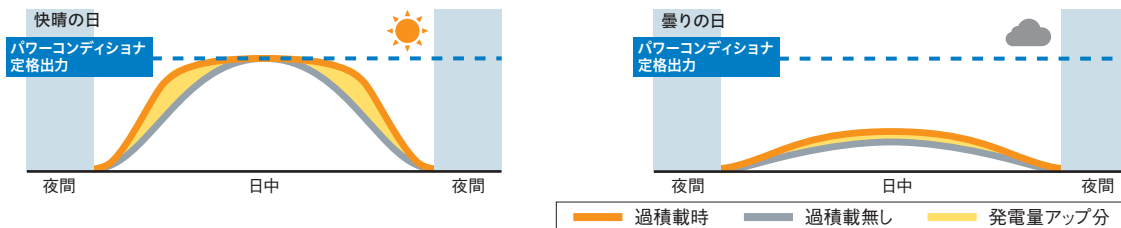


# 過積載への対応について

## 太陽電池モジュールの過積載について

パワーコンディショナの定格容量以上に太陽電池モジュールが発電可能でもパワーコンディショナの定格出力以上に発電されないようにパワーコンディショナ本体にて制御しています。定格容量を超えた電力がカットされても以下のメリットにより実質的には発電量はアップします。

過積載により、日射量の少ない時でも発電容量のアップが可能です。



## 過積載時の条件について

各ストリングの入力電圧が、最大入力電圧を超えない範囲にて直列数を構成してください。

※設置場所において想定できる温度条件、ご使用される太陽電池モジュールの温度特性及び電圧のバラつきを考慮し、太陽電池モジュールの公称開放電圧と温度係数をご確認いただいたうえ、下記範囲内で直列数の構成をお願いします。

■各モデル、各ストリングの最大入力電圧及び最大入力電流

シリーズ	製品名	最大入力電圧	最大入力電流	シリーズ	製品名	最大入力電圧	最大入力電流
単相	EPC-S40MP2-L	450V	10.3A <sup>*2</sup>	三相	EPU-T99P5-SFL	550V <sup>*1</sup>	10.3A <sup>*2</sup>
	EPC-S49MP3-L				1000V	EPD-T250P8-FPL	10A <sup>*2</sup>
	EPC-S55MP3-L					EPD-T250P6	
	EPC-S55MP4-L					EPD-T330P7	
	EPC-S99MP5-L			蓄電池対応ハイブリッド	450V	12.5A	
	EPC-S99MP5-CL						

パワーコンディショナの最大入力電流を超えた太陽電池モジュールの公称最大出力動作電流を接続しても、パワーコンディショナにて最大入力電流値を超えないよう、入力電流を制御しています。

※1 1ストリングあたりの入力運転電圧範囲の上限値550Vを超えないようにしてください。

※2 太陽電池アレイの1ストリングあたりの公称出力動作電流の合計が、単相モデル及び三相9.9kWモデルの場合30A、三相25kW・33kWモデルの場合23Aを超えないようにしてください。

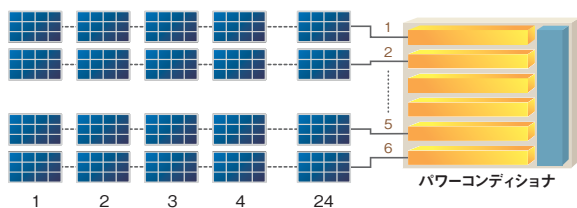
**上記の条件を満たしていれば、過積載による保証内容の変更はございません。**

※但し、過積載等に関係なく、設置の態様が当社が取扱説明書や取付工事説明書等で指定する条件を満たしていない場合は保証対象外となります。

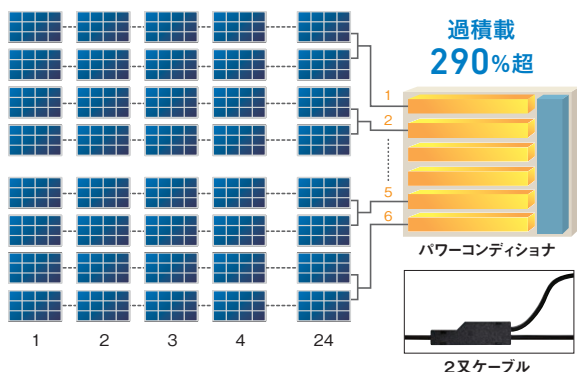
例 パネル仕様 Voc : 39V, Pmax : 270Wの場合

### 三相25kWパワーコンディショナ

直列Max 24直列×6回路

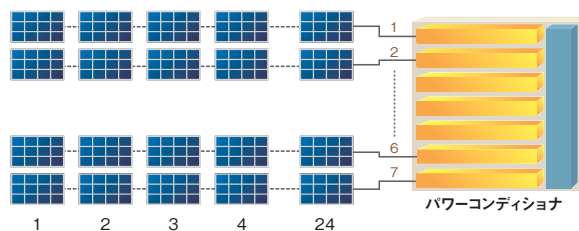


直並列Max 24直列×2並列×6回路  
(2又ケーブル使用時)

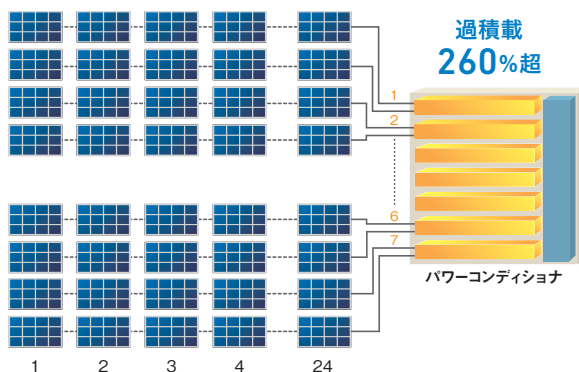


### 三相33kWパワーコンディショナ

直列Max 24直列×7回路



直並列Max 24直列×2並列×7回路  
(1入力に対し並列2回路入力時)



最適な太陽電池モジュール構成については、太陽光発電システムの設計元やご購入先、または太陽電池モジュールのご購入先にお問合せください。